

# 第12回 議員と語る会(2023)

## 議会懇談会



～開かれた議会・町民と共にある議会を目指して～

### 発刊にあたって

河北町議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を目指し、第12回議員と語る会・議会懇談会が10月9日に庁舎301会議室と河北町産業振興センター会議室にて開催されました。

今回は従来の議会報告会と違う形式で、町民の皆様から提示して頂いた課題に、町民の方々と議員が懇談するという新しい形で進めました。

山形県宅地建物取引業協会寒河江様と「空き家の利活用について」、河北町商会様と「産業振興について」懇談いたしました。

活発に議論が展開され、とても有意義だったと感じているところです。

今後とも開かれた議会を目指して活動していきます。

(議会運営委員会)

### 議会懇談会について 先進地から学び

令和5年度から議会報告会・議員と語る会の形態が変わりました。これまでの議会報告会は、議会基本条例に基づいて議会報告会実施要綱で定められています。

今回はその中の第2条第3項の規定に基づいた形で開催されました。

第3項の内容は、各団体等から要請があった場合は、河北町議会懇談会要請書により受付し、議会運営委員会に諮り、随時開催するというものです。

今回は、この要綱で開催されましたが、様々な点で課題も浮き彫りになり、課題を整理し検討を重ねていきます。

この議会懇談会の開催にあたっては、福島県会津坂下町議会に先進地視察として研修してきました。

会津坂下町議会では



平成29年から「ばんげ未来トーク」として議会懇談会を開催しています。「未来トーク」とは、議員開催の懇談会に町民の方々が参加して頂くスタイルから、町民の方が開催する会に議員が参加するスタイルに変え、情報交換するというものです。

以前は、私達が実施

していた形態と同じ方法で行っていたようで、毎回同じ方々の参加や、町への要望や苦情などの意見が多く出される事が多かったそうです。しかし、「未来トーク」いう形に変わってからは同じ課題で話し合う事で、解決策を導き出し、町への施策提言につなげやすくなったそうです。

### 懇談会参加者

敬称略

#### 山形県宅地建物取引業協会寒河江

副代表理事 大沼 俊之

(株)慶愛不動産代表取締役

会計理事 高梨 順教

高梨建設(株)代表取締役

理事 菊地 廣昭

チェリー不動産(株)代表取締役

理事 白田 晋一

白田建設(株)代表取締役

理事 伊藤 直樹

こいや不動産代表

事務局 黒田 裕美

#### 河北町商工会

(部会)

会長 工藤 亮輔

工業

副会長 上村 徹也

観光サービス

副会長 宇佐美克己

商業

理事 阿部 順紀

観光サービス

理事 木嶋 真一

商業

理事 佐藤 秀男

建設

理事 榎 正昭

工業

理事 奥山 文字

女性部

商工会 荻埜 貴之

商工振興課長

商工会 鈴木 大裕

振興係長

#### 河北町議会出席者(議席順)

- 安達 智勇
- 安孫子真弥
- 東海林信弘
- 石垣 光洋
- 増川 憲一
- 佐藤 修二
- 鈴木 英友
- 林 智
- 奥山 英幸
- 吉田 芳美
- 細矢 誓子

ご参加ありがとうございました

### あとがき

挑戦し改革していくことが議会及び町の進展に繋がると考えます。町民の皆様の声を吸い上げるためにも、参加された住民・団体が直面する問題や課題について話を聞き町の政策につなげていくことが大切です。

今年度は議会活動をしっかり進めるため、新しい形での議員懇談会にチャレンジしました。

町民の皆様により近くに議会を感じて頂けるよう様々な検討を加えながら次年度の開催に向け進めてまいります。

開かれた議会、ともに進む議会を目指して活動します。(せいこ)

空き家の活用について



大沼副代表理事

みんなで協力  
しましょう！

空き家対策は官民が  
連携

○空き家問題は民間だけではやって限度がある。行政が主体でやっても難しい。官民が協力してやるのがベストな形ではないのか。



ボロボロの空き家

どうすれば空き家対策  
を加速させられるか

○空き家バンクの制度など理解していないように思える。定期的な広報活動をしてみてはどうか。  
○空き家の大半は、売っても貸してもいい。どうしたら良いのか分からない方が多い。  
○業者としても相談に来てからしか動けない。  
○持ち主は何をしたら良いかわからず、恥ずかしいから相談しないようだ。  
○空き家バンクへの登録や、買いたい人への補助など支援が必要なのは。  
○空き家は当事者の問題だけでなく、地域の問題としての取り組みが必要では。

空き家の実態は

○令和3年度、空き家を調査した時にランク分けをした。  
西里64戸、溝延43戸、

谷地160戸、北谷地36戸、元泉10戸。  
山形県の空き家率は全国で12番目に低い。しかし伸び率は3番目に高い。  
○空き家は状態が良くても解体して更地にしてしまっている。



高梨会計理事

空き家は  
チャンス！

空き家の有効活用

○持ち家ではなく、賃貸の需要も増えている。  
○家族で暮らせる広さのアパートにも需要がある。  
○福岡県はマッチングビジネスなどを行い、空き家が少なくなってきた。若い人でお



空き家を利活用した事例写真



伊藤理事

相談に  
来てね！

宅建協会さんより

○空き家を何とかしなければならぬという意識を持ってもらうことが大事。  
○地域、行政一体となった空き家の対応が必要

空き家の情報提供

○空き家のバスツアーはとも良い。  
○田舎の方がネット環境は悪くないので、利活用に期待できる。  
○最近、外国人が多いので、他所の人を受け入れる心持が必要。  
○河北町の土地は東根と比べて安価である。

ではないのか。  
○空き家対策の第一歩は、相談していただくことが大切。

○空き家は2年過ぎると傷みが懸念され、早めの情報欲しい。  
○リノベーションをする人は50歳〜65歳が多い。  
○リバースモーゲージ(持ち家を担保とした高齢者向けの貸付制度)金利しか払わなくていいローンもある。  
○自分の家の段差を全て改修するのは大変だが、手頃な空き家を買って改修するのをもひとつの手段だ。

○周辺の市町村は空き家の解体に補助金を出している。河北町でも検討してはどうか。  
○啓蒙活動を頑張っしてほしいが、行政の意欲の度合で結果に差が出ているようだ。

議員の一言

○都会からの新規就農者へ農地・住まいのセッ

こんな意見も

トの物件など情報発信してはどうか。  
○物価高で新築を建てるにはとても費用がかかる。空き家をうまく利活用できれば若い人を増やせるチャンスだと思おう。  
○更地にして売るのが良いのか、利活用できる空き家は解体しない方が良いのか、相談することが大切では。

町への質問と回答

○空き家にならないうちにも住居を手放した方もいる。  
○実際に改修した際の暮らしをイメージ出来る様にするのがポイントだ。  
○行政の人は一般の町民と意識が違う様に感じる。  
○河北町はコンパクト、コストが掛からない町、コンパクトシティが既にできている。  
○交通の便が悪いとの話があったが、今は車の時代。東根ICも開

通し、むしろ交通の便が良い地域ではないのか。  
○村山より北の地域の人は雪を嫌って南下する。その辺の人をターゲットにしてはどうか。  
○全国から注目される冷たい肉そばやイタリア野菜もある。  
○空き家問題を解決できれば、全国から注目される町になる。

○空き家対策を強化する目的で、地域おこし協力隊などの起用を考えては。  
○今年度より移住定住の促進及び移住希望者をつなぐコーディネートとして、地域おこし協力隊制度を活用し移住定住支援員を配置しており、移住に対する相談対応や空き家情報・利活用も含め活動している。



産業振興について

アンテナを高く情報を共有

- 年2、3回くらい議員と懇談する場を設けてほしい。
- 企業との連携、情報交換、共有、交流は大事である。
- アンテナを高くし、情報を共有して河北町を良くする必要があるのではないのか。

積極的な工業誘致を

- 谷地工業団地は手狭



工藤会長

年2,3回は意見交換しましょう!

だが、今後どうするか。

- 町は花ノ木工業団地が全部売れるまで拡大を考えていないのか。
- 工業団地の拡張を県に再度協議を依頼し、働く場所が少しでも増える様に考えなければならぬ。
- 工業団地の土地がなくなつてから対応するのではなく、使われていない土地が増えてくるので、今のうちから将来を見据えて動くべきだ。
- 商工会と町は連携し、一致協力して活発な町にしていきたい。

商工業としての課題

- 経済状況が全体的に厳しい。
- アンテナショップ「かほくらし」が理解されていないのではないか。アンテナショップの活用、都市部から地方



花ノ木工業団地の現状

活発な町にしていきたい!



上村副会長

への流れを加速させた

- これから経済は西村山地域一丸にならないと厳しいのではないのか。
- 河北町を周辺市町村と比べた場合、政策面でスピード感が無くない。
- 人口減少では商売にならない。
- 河北町の工場、建物、機械など、どんどん劣



動物園リニューアルイメージ

化している。

○いもこ列車は、歴史的にも価値があり、遠方の方も興味を示している。動物園のリニューアルとセットで有効に活用してほしい。

○商工会と町は一体となり、イベントや町の伝統行事を継承し、賑わいを創出していくことが大切と考えている。

○かほくpayは、5000円分を配布したが、地域経済の活性化には果たしてどうなのか。

か。他市町村の取り組みはインパクトがある。今回の商品券も町民のみだったが、他市町村にも広められれば、中小企業の活性化に繋がる。

インパクトのある施策、プレミアム商品券などをぜひ検討してほしい。

○資材高騰等による需要の伸び悩みに対して、町の支援が必要である。

議員の一言

- 河北町は情報発信やアピールが不足している。
  - 工業、商業誘致が重要である。
  - 情報の早取り、共有、スピード、思い切った施策の転換が大事。
- こんな意見も**
- プール跡地にしても、10年程前から更地である。
  - 小学校の統廃合の件、考え方があまりにも消極的ではないのか。
  - 川をきれいに、河北

- 町の玄関口をきれいにしてほしい。
- 紅花資料館では紅花が見られない。
- 子ども達の声が聞こえない。
- 谷地高、102年の歴史、灯を消すことは町の灯も消える。
- 人口が増えれば、土地が上がる。大手企業が来れば町の価値があがるのでは。
- 商工会女性部のおも



宇佐美副会長

もっとアンテナショップの活用!

てなし交流事業は全国でも実施している。町



アンテナショップかほくらし

町への質問と回答

質 国道287号線4車線化の進捗は。

町 国道287号線は、地域経済や文化の発展に重要な役割を担っており、谷地橋周辺の4車線化を西村山地区の他市町村とともに山形県に強く要望している。山形県、東根市及び河北町で構成される「東根市・河北町間道路ネットワーク勉強会」では、市町間の将来の道路ネットワークの在り方について勉強会や、交通量調査(旅行速度調査)などを実施している。また、国道287号谷地橋四車線化促進期成同盟会を組織し、谷地橋4車線化に向け事業促進に取

り組んでいる。

質 花ノ木工業団地の河道掘削土砂はいつ無くなるのか。撤去後の土地の計画は。

町 令和6年1月を目途に撤去する予定となっている。土砂撤去後の3区画については、積極的な企業誘致活動を行っていく。

質 河川敷を整備し、ボートやカヌー、サイクリングロードなどの観光資源にできるのでは。

町 これまで最上川グリーンパークや寒河江川の溝延橋周辺等で水辺空間を整備し、河川環境の保全に配慮しながら、ゴルフ場・カヌー場・公園・桜並木など、スポーツ・レクリエーション施設や散策など親水空間として親しめる空間形成を進めてきた。豊かな自然環境と立地を活かしながら、身近に自然を感じる空間形成を図り、河川管理者との連

携やご理解をいただきながら施設充実を検討し、多くの方々に親しまれる観光資源・レクリエーション施設として河川敷内の活用を図っていききたい。

質 下野地区道路開発は、十何年前に測量が終わっているのに手付かずの状態。進捗状況は。

町 平成22年度に将来にわたる下野地区の道路基本設計を実施した。現在その一部区間として、下野真木線ほか1路線の道路事業に関係者のご理解をいただきながら着手している。未着手の区間においては、財源確保に努めていく。



プレミアム商品券